

釈宗演

釈宗演遠諱100年記念特別展

釈宗演と近代日本

—若き禅僧、世界を駆ける—

展覧会

2018 6/4_{mon} → 8/6_{mon}

〔第1会場〕慶應義塾図書館展示室

開館時間：9時～18時20分（土曜は16時50分まで） 休館日：日曜、祝日

〔第2会場〕慶應義塾大学アート・スペース

開館時間：10時～17時 休館日：土日、祝日（6/23、7/21は開館）

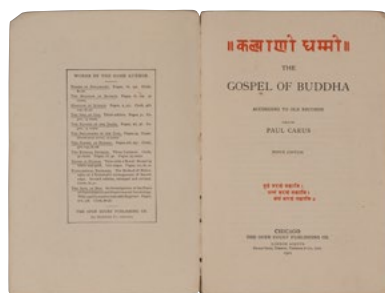
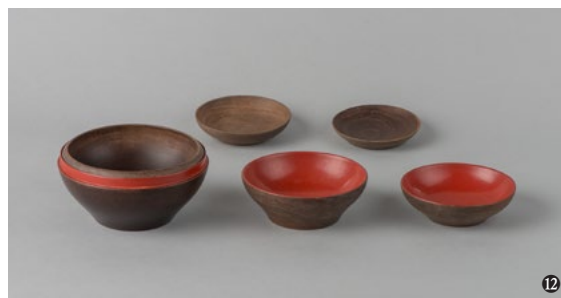
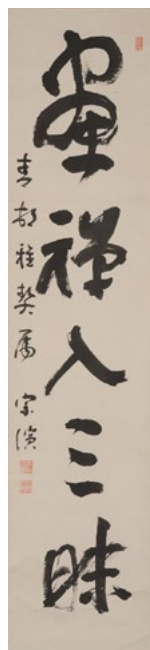
会場：慶應義塾大学三田キャンパス（JR山手線「田町駅」、都営地下鉄浅草線・三田線「三田駅」より徒歩約8分）

主催：臨済宗大本山円覚寺、慶應義塾福沢研究センター（主管）、慶應義塾大学アート・センター、慶應義塾図書館

会期中のイベントなど、詳細は展覧会WEBサイトをご覧ください <http://www.fmc.keio.ac.jp/>

お問合せ：慶應義塾福沢研究センター 〒108-8345 東京都港区三田2-15-45 FAX:03-5427-1605 fmc@info.keio.ac.jp

釈宗演遠諱100年記念特別展 **釈宗演と近代日本** ―若き禅僧、世界を駆ける―



関連行事

詳細はWEB サイトをご覧ください <http://www.fmc.keio.ac.jp/>

①特別対談「釈宗演とグローバリゼーション」(北館ホール)

6月11日④16:30～18:00 定員先着200名

横田南嶺(臨済宗大本山円覚寺派管長)×馬場紀寿(東京大学東洋文化研究所准教授)

②ノグチ・ルーム特別公開(事前申込不要・南館3階ルーフ・テラス集合)

6月11日④、6月23日④、7月12日④、21日④、8月6日④

◆坐禅ワークショップ(各回先着20名) ①10:45～12:15、②13:00～14:30

◆ミニレクチャー 12:20～12:50

梅沢恵(神奈川県立金沢文庫主任学芸員)「鎌倉・円覚寺の五百羅漢図」6月11日④、8月6日④

都倉武之(慶應義塾福沢研究センター准教授)「福沢諭吉と仏教」6月23日④、7月12日④、21日④

③ギャラリー・トーク(図書館展示室集合) 各日14:45～(1時間程度)

6月19日④、27日④、7月21日④

④展覧会限定御朱印「円覚寺文殊菩薩」(図録ご購入の方のみ)

①、②の会場ではその場で墨書します

連携展覧会

大用国師二百年・釈宗演老師百年大諱記念特別展
 鎌倉禅林の美 円覚寺の至宝

会場:三井記念美術館
 2019年4月20日④～6月23日④

夏目漱石が参禅したことで知られる釈宗演(1858—1919)は、明治26年(1893)にシカゴで開催された第1回万国宗教会議に福沢諭吉の援助を得て参加し、初めて世界に「ZEN」を紹介した禅僧です。鈴木大拙の翻訳による英語での発信をはじめとして、晩年まで欧米や東アジア諸国を精力的に巡るなど、常にグローバルに活躍しました。

26歳という異例の若さで修行を終え、すでに僧としての地位を築いていた釈宗演は、師の反対を押し切り慶應義塾に入学。英学を学び、ついでセイロンに留学。アジアの実情を目の当たりにするとともに、日本仏教や仏教そのものを世界の宗教地図の中で相対化する視座を獲得し、生涯にわたって「近代」という問題と格闘しました。本展では、初公開を含む約100点の資料から破天荒な国際人としての萌芽を若き日に探ります。

- ① 釈宗演筆「西遊日記」東慶寺 1887年
- ② パーリ語で書かれた貝葉経と鉄筆 東慶寺
- ③ 釈宗演著『錫嶺島志』1890年
- ④ 仏塔(釈宗演請来) 東慶寺
- ⑤ 菩薩像(釈宗演請来) 東慶寺
- ⑥ 蓮華文軒丸瓦(釈宗演請来) 東慶寺
- ⑦ ポール・ケーラス著『The Gospel of Buddha』1894年
- ⑧ 「A Short History of Buddhism」(鈴木大拙最初の訳稿) 東慶寺
- ⑨ 悩める画家・前田青邨に釈宗演が与えた墨跡「画禅入三昧」 東慶寺
- ⑩ 前田青邨筆 紅梅図 東慶寺
- ⑪ 島崎柳塘筆 釈宗演像 東慶寺(パネル)
- ⑫ 持鉢(釈宗演受用) 東慶寺
- ⑬ 佐藤禅忠筆「台湾絵日記」 東慶寺 1913年

表:釈宗演が福沢諭吉に贈った写真(部分) 慶應義塾福沢研究センター
 釈宗演筆 シンハラ文字による七仏通戒偈(部分) 東慶寺



慶應義塾図書館展示室
 慶應義塾大学アート・スペース
 〒108-8345
 東京都港区三田2-15-45
 慶應義塾大学三田キャンパス内

入場無料

交通
 ●JR山手線「田町駅」
 ●都営地下鉄浅草線・三田線
 「三田駅」より徒歩約8分